

現代の国語

総合学科

教 科	国語	単位数	2 単位	対象	1 年次	選択群	
使用教科書	高等学校新編現代の国語 (第一学習社)			副教材等		履修	必履修・選択
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路	
<p>文章に表れた見方や考え方について言葉を通じて読み取り、話し合いや発表などの言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質や能力を養います。</p>			<p>・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け論理的に考える力や共感したり想像したりする力を伸ばし伝え合う力を高め、自分の考えを深める。 ・言語価値への認識を深め読書に親しみ、社会に関わる態度を養う。</p>			<p>・1年次生全員が履修します。</p>	
学 習 の 年 間 計 画	月	単元名	項 目	学 習 内 容			
	4月	新しい出会い	・「未知」はいくらでもある	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の捉え方の理解と自己に照らしての考察 内容や構成、論理の展開、要旨の的確な把握 自分の考え方が的確に伝わる根拠の示し方、工夫 話し言葉と書き言葉の特徴の理解 ピクトグラムを持つ言語としての機能の理解と言語表現についての多様性についての考察 			
	5月	言葉が開く世界	・言語としてのピクトグラム	<ul style="list-style-type: none"> 文章に含まれる情報を関連付けながらの解釈、調べたことの整理、説明資料のまとめ ピクトグラムの問題点や修正案についての発表 			
	6月			<ul style="list-style-type: none"> 筆者の旅の追体験による多様な世界についての理解 事績を調べ、収集した情報の妥当性や信頼性を吟味 比喩表現の理解 			
	7月	人間の風景	・十六歳のとき	<ul style="list-style-type: none"> 開発意図の理解と、人とロボットの間にも生まれた関係性についての考察 筆者の仕事観についての理解と、それについての意見や考えの論述 			
	9月	社会と人間	・「弱いロボット」の誕生	<ul style="list-style-type: none"> イースター島の歴史についての理解と筆者が提示する人類と生態系のあり方についての考察 主張と論拠、個別と一般化など、情報相互の関係性 持続可能性についての自分の意見や論述 			
	10月	現代と社会	・イースター島になぜ森がないのか	<ul style="list-style-type: none"> 相手・目的・場面に応じた言葉遣い 敬語表現を意識した言葉遣い 説得力を意識した表現の工夫 情報の信頼性や妥当性の吟味のしかた わかりやすく説明するスピーチの方法とプレゼン 			
	11月	話して伝える	<ul style="list-style-type: none"> 話し方の工夫 待遇表現 論理的な表現 情報の探索と選択 スピーチ・プレゼン 	<ul style="list-style-type: none"> 論点を共有し、考えを深める話し合いの実践 合意形成のため話し合いの重要性と進め方の理解 表記・表現の基本ルール 接続表現、比喩などの表現技巧の理解 わかりやすい説明の実践 依頼文、案内文の書き方の理解 目的に応じた題材の決定と情報の収集 意見文の理解 自分の経験から導き出す意見 			
	12月			<ul style="list-style-type: none"> 合意形成のための話し合いを行う 書き方の基礎レッスン 			
	1月	書いて伝える	<ul style="list-style-type: none"> 実用的な手紙文の書き方 地域の魅力を紹介する 社会に対する意見文を書く 	<ul style="list-style-type: none"> 論点を共有し、考えを深める話し合いの実践 合意形成のため話し合いの重要性と進め方の理解 表記・表現の基本ルール 接続表現、比喩などの表現技巧の理解 わかりやすい説明の実践 依頼文、案内文の書き方の理解 目的に応じた題材の決定と情報の収集 意見文の理解 自分の経験から導き出す意見 			
	2月			<ul style="list-style-type: none"> 論点を共有し、考えを深める話し合いの実践 合意形成のため話し合いの重要性と進め方の理解 表記・表現の基本ルール 接続表現、比喩などの表現技巧の理解 わかりやすい説明の実践 依頼文、案内文の書き方の理解 目的に応じた題材の決定と情報の収集 意見文の理解 自分の経験から導き出す意見 			
	3月			<ul style="list-style-type: none"> 論点を共有し、考えを深める話し合いの実践 合意形成のため話し合いの重要性と進め方の理解 表記・表現の基本ルール 接続表現、比喩などの表現技巧の理解 わかりやすい説明の実践 依頼文、案内文の書き方の理解 目的に応じた題材の決定と情報の収集 意見文の理解 自分の経験から導き出す意見 			
	学習方法	<p>【予習】それぞれの文章の語句の意味、漢字の読み方、書き方を確かめておきましょう。 【授業】集中して授業に取り組み、理解に努めましょう。わからない内容は早めに質問をしましょう。 【復習】その日の学習内容について、板書した内容を中心にもう一度振り返り、課題等に取り組みましょう。</p>					
評価の観点・評価規準・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。		「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。		
	評価方法	第1・2学期	第3学期	年度末			
※上記の観点を基に学期ごとに評価する。 A：主に考査による観点別評価 B：主に授業等の活動による観点別評価	A：7割 B：3割 Bは、授業態度、発表、小テスト、課題の取組状況、長期休業中の課題等	A：7割 B：3割 Bは、授業態度、発表、小テスト、課題の取組状況、長期休業中の課題等	1・2・3学期の平均				
備考							

言語文化

総合学科

教 科	国語	単位数	2 単位	対象	1 年次	選択群	
使用教科書	高等学校新編言語文化 (第一学習社)			副教材等		履修	☑履修・選択
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路	
日本における現代の文学的文章やさまざまな古典の文章を読み、日本の言語文化に触れることで、言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しむ態度を育てます。			<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化に対する理解を深める。 思考力や想像力、読解力を伸ばし心情を理解する。 読書に親しむ態度や、言語感覚を磨き、文学に対する関心を深める。 			・1年次生全員が履修します。	
学 習 の 年 間 計 画	月	単元名	項 目	学 習 内 容			
	4月	古文入門	<ul style="list-style-type: none"> 古文の学習 鳩と蟻のこと 	<ul style="list-style-type: none"> 古文に親しむ意義 話の内容と展開を押さえ、古文特有の仮名遣いと言葉に慣れる。 			
	5月	小説を読む (一)	<ul style="list-style-type: none"> 島の少年—船 	<ul style="list-style-type: none"> 描写に表れた登場人物の心情をそれぞれの視点で読み解くことで、小説の展開を捉える。 常用漢字の活用と語句、語彙の理解 			
	6月	漢文入門	<ul style="list-style-type: none"> 訓読に親しむ (一) ~ (三) 狐借虎威 	<ul style="list-style-type: none"> 漢文を訓読するための基礎知識 現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 故事成語の由来と現代の言葉のつながり 			
	7月	詩の楽しみ	<ul style="list-style-type: none"> I was born 	<ul style="list-style-type: none"> 散文詩に親しむ。 作者の心情を自分事として共有し考えたことを話し合う。 			
	9月	小説を読む (二)	<ul style="list-style-type: none"> 羅生門 	<ul style="list-style-type: none"> 下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 作品の成立した背景を踏まえ、内容を解釈する。 現代に通じる人間のありようを味わいながら、古文への親しみを深める。 			
	10月	古文に親しむ物語を楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> 児のそら寝 伊勢物語「筒井筒」 	<ul style="list-style-type: none"> 作品に表れているものの見方、考え方を捉え解釈する。 表現や押韻、対句などの技法に留意し鑑賞する。 古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 			
	11月	漢詩の鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 唐詩の世界「春暁」「静夜詩」「春望」 	<ul style="list-style-type: none"> 漢詩の決まりを理解する。 伝統の一つである短歌の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 短歌の表現技巧とその効果について 			
	12月	短歌と俳句	<ul style="list-style-type: none"> 大切な言葉 折句を用いて短歌を作る 				
	1月	小説を読む (三)	<ul style="list-style-type: none"> よだかの星 	<ul style="list-style-type: none"> 小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 作品の寓意を積極的に理解し、「生きる」ことについて考えたことを発表する。 			
	2月	随筆を読む	<ul style="list-style-type: none"> 徒然草・方丈記 	<ul style="list-style-type: none"> 当時の世相を反映した文章を読み、古文に表れたものの見方や考え方の一端に触れる。 語句の量や語彙を豊かにする。 漢文の散文作品に触れて読みに慣れるとともに、文章中に示された教えを読み取る。 			
	3月	寓話	<ul style="list-style-type: none"> 両頭蛇 				
	学習方法	<p>【予習】それぞれの文章の語句の意味、漢字の読み方、書き方を確かめておきましょう。</p> <p>【授業】集中して授業に取り組み、理解に努めましょう。わからない内容は早めに質問をしましょう。</p> <p>【復習】その日の学習内容について、板書した内容を中心にもう一度振り返り、課題等に取り組みましょう。</p>					
評 価	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。		「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。		
評 方	評価方法		第1・2学期	第3学期	年度末		
	※上記の観点を基に学期ごとに評価する。 A：主に考查による観点別評価 B：主に授業等の活動による観点別評価		A：7割 B：3割 Bは、授業態度、発表、小テスト、課題の取組状況、長期休業中の課題等	A：7割 B：3割 Bは、授業態度、発表、小テスト、課題の取組状況、長期休業中の課題等	1・2・3学期の平均		
備 考							

古典探究

総合学科

教科	国語	単位数	3単位	対象	2年次	選択群	G群	
使用教科書	高等学校 標準古典探究 (第一学習社)			副教材等			履修 必履修・選択	
授業の概要		学習の到達目標			履修の条件・進路			
<p>古典として優れた古文や漢文を、語句の意味や文法・句法を確認しながら口語訳して内容を読解します。また、当時の人々の生活や文化、ものの見方に触れ、理解を深めます。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な言語文化に対する理解を深める。 ・古典を通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で自分の考えを深める。 ・古文や漢文に用いられる語句の意味や文法、句法を理解する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・文系の大学進学希望者が対象です。 ・2年次で古文編第Ⅰ部と漢文編第Ⅰ部を学習し、3年次R②群で、それぞれ第Ⅱ部を学習します。 			
学習の年間計画	月	単元名	項目	学習内容				
	4月	説話(一)	古本説話集 「平中が事」	<ul style="list-style-type: none"> ・平安朝の著名な人物にまつわる説話を読み、滑稽話のおもしろさを味わう。 ・助動詞の意味を理解し、学習の見通しをもって調べる。 				
	5月	故事・寓話	十訓抄 「文字一つの返し」	<ul style="list-style-type: none"> ・説話を読み、制約のある中でふさわしい返歌をした成範の機転を味わうとともに編者の意図を捉える。 				
	6月		助長(孟子) 嬰逆鱗(韓非子) 画竜点睛(歴代名画記)など	<ul style="list-style-type: none"> ・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 				
	7月	随筆(一)	徒然草 「金世の二位のせうとに」 「相模守時頼の母は」	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・作者の鋭い観察眼を通して綴られた世の諸事情に関する随筆を読み、ものの見方、考え方を深める。 				
	9月	三国志の世界	方丈記 「ゆく川の流れ」 「安元の大火」	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉初期という時代の転換期に作者が描いた人の世に対する思いを通してものの見方、考え方を深める。 ・和漢混交文で書かれた随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して構成や展開、内容を的確に捉える。 				
	10月		水魚之交(十八史略) 赤壁之戦(十八史略) 死諸葛走生仲達(十八史略)	<ul style="list-style-type: none"> ・史伝という文章の種類を踏まえ、構成や内容を的確に捉える。 				
	11月		物語(一)	伊勢物語 「通ひ路の関守」	<ul style="list-style-type: none"> ・時代背景や登場人物の言動を読み取り、その意図や心理を読み取る。 ・物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 			
	12月		竹取物語 「かぐや姫の昇天」	<ul style="list-style-type: none"> ・作り物語の場面設定や心理描写を読み味わい、その伝奇性を生んだ古代人の想像力に触れる。 				
	1月	漢詩の鑑賞	中国の詩 「鹿柴」 「絶句」 「峨眉山月歌」 「春夜」	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々の自然や人事などへの思い通して、考えを深める。 ・漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 				
	2月		和歌・俳諧	古今和歌集 新古今和歌集	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩を鑑賞して、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、発展期の和歌を鑑賞し、作品に表れている情景や心情を読み取る。 ・和歌の修辞や表現の特色を理解する。 			
	3月							
学習方法	<p>【予習】 本文をノートに書写し、語句の意味や句法を調べ、できる限り口語訳しておきましょう。</p> <p>【授業】 集中して授業に取り組み、理解に努めましょう。理解が難しい内容は早めに質問するようにしましょう。</p> <p>【復習】 その日の学習内容について、板書内容を中心に確認しましょう。課題プリントや小テストの内容をもとに、特に語句の意味や文法・句法については確実に理解するよう努めましょう。</p>							
評価	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばして他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。			
評価方法	評価方法		第1・2学期	第3学期	年度末			
	※上記の観点を基に学期ごとに評価する。		A：7割 B：3割	A：7割 B：3割	1・2・3学期の平均			
備考	A：考査による評価 B：授業活動等による評価		Bは授業態度、小テスト、課題の取組状況、ルーブリック、長期休業中課題の取組等	Bは授業態度、小テスト、課題の取組状況、ルーブリック、長期休業中課題の取組等				

文学国語

総合学科

教科	国語	単位数	3単位	対象	2年次	選択群	G群
使用教科書	高等学校 標準文学国語 (第一学習社)			副教材等		履修	必履修・ 選択
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路	
近代・現代の文学的文章を読み、登場人物の人物像や心情、場面の情景の捉え方を学び、鑑賞することで想像力を養います。また、読書に親しみ、感想を書いたり発表したりすることで想像力や表現力を培います。			深く共感したり豊かに想像したりする力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 社会生活に必要な国語の知識や技術を身に付け、言語文化に対する理解を深められるようにする。			<ul style="list-style-type: none"> 履修の条件は特にありません。 就職及び短大、専門学校進学希望者が対象です。 	
学年 の 計 画	月	単元名	項 目	学 習 内 容			
	4月	第Ⅰ部 現代の小説 (一)	調律師のるみ子さん	<ul style="list-style-type: none"> 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 詩の構成や比喩に注目して読み、自分と他者との関係性について作者の捉え方を理解する。 時間の経過とともに登場人物の心情と行動に生じる変化を追いつき、題名にこめられた意味を考える。 作品に関連する事項を調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする。 フェルメールの絵画について述べられた対談の文章と比較して文体の特徴や効果について考察する方法を学ぶ。 			
	5月	現代の詩	生命は				
	6月	現代の小説 (二)	相棒				
	7月	随想	真珠の耳飾りの少女				
	9月	近代の小説 (一)	こころ	<ul style="list-style-type: none"> 物語の展開と出来事を整理し、登場人物それぞれの心情をつかむ。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに作品の解釈を踏まえ、人間、社会、自然に対する自己の考えを深める姿勢を養う。 登場人物同士の関係や心情を把握しながら「僕」の発言の背景あるものを理解する。 文学的文章の文体の特徴や表現技巧を理解する。 短編小説の特色を理解し、本との再会を繰り返すたび実感される「私」の変化を読み取る。 表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえ作品の主題を考える。 			
	10月	戦争と文学 (一)	バクダッドの靴磨き				
	11月	第Ⅱ部 現代の小説 (三)	旅する本				
	12月	近代の小説 (二)	山月記				
	1月	近代の詩	永訣の朝				
	2月	近代の小説 (三)	卒業	<ul style="list-style-type: none"> 詩の中の自然の描かれ方に注目し、登場人物それぞれの心情を想像しながら味わう。 仕事に向き合う態度と友人への思いがどのように変化するかを捉え、主人公にとっての「卒業」の意味を考える。 共感できる表現を積極的に探し、その理由をわかりやすく発表する。 出来事の経緯や人物の発言をもとに心理を読み取り、戦争の体験をどのように意味づけるべきかを考える。 「失ってはならないもの」に対する意見をまとめる。 			
	3月	戦争と文学 (二)	血であがなったもの				
	学習方法	<p>【予習】それぞれの文章の語句の意味、漢字の読み書きを確かめておきましょう。</p> <p>【授業】集中して授業に取り組み、理解に努めましょう。理解できない内容は早めに質問しましょう。</p> <p>【復習】学習内容について、板書内容を中心に考えましょう。課題プリントや小テストを振り返りましょう。</p>					
評価の 観点・ 評価 規準・ 評価 方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、言語文化に対する理解を深めているか。		「書くこと」「読むこと」を各領域において、深く共感したり想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させようとしている。		
	評価方法		第1・2学期		第3学期		年度末
※上記の観点を基に学期ごとに評価する。		A：7割 B：3割		A：7割 B：3割		1・2・3学期の平均	
A：考査による評価 B：授業活動等による評価		Bは授業態度、小テスト、課題の取組状況、ルーブリック、長期休業中課題の取組等		Bは授業態度、小テスト、課題の取組状況、ルーブリック、長期休業中課題の取組等			
備考							

論理国語

総合学科

教科	国語	単位数	3単位	対象	2年次	選択群	G・L群	
使用教科書	高等学校 標準論理国語 (第一学習社)			副教材等		履修	必履修・ 選択	
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路		
実社会で必要とされる論理的なものの方や考え方について評論文を読むことで培います。言葉による見方や考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質や能力の育成を図ります。			実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。論理的・批判的に考える力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			<ul style="list-style-type: none"> ・大学、医療系専門学校進学希望者が対象です。 ・文系大学進学希望者は3年次に継続履修します。 		
学年間の計画	月	単元名	項目	学習内容				
	4月	理解編Ⅰ 新しい発見	・進化が導き出した答え	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の進化における多様性について理解し、それを人間の生き方に照らし合わせて考えを深める。 ・生物の進化や多様性について述べた文章を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 				
	5月	言葉と文化	・教え方で磨く日本語	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例をもとに日本語のものの考え方の性質や文化的特徴を理解し、把握したうえで、言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 				
	6月	生活の中の表現 (読み比べ)	・情けは人の……	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中に示された言葉の正しい意味を知るとともに筆者の姿勢を読み取る。 ・関連するテーマの文章を読み比べ比較し内容をまとめる。 				
	7月							
	9月	人間と文化	・バラと通貨はどう違う？	<ul style="list-style-type: none"> ・通貨と対比されるものの性質を把握し、筆者が述べる通貨の本質を理解する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 				
	10月	自己と社会	・共同性の幻想	<ul style="list-style-type: none"> ・「同調圧力」がはたらく社会的背景を理解し、現代における人間関係のあり方について考察する。 				
	11月		・鏡としての他者	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。 ・文章構造をもとに主張を読み取り、他者が自己に与える影響について考える。 				
	12月	実用文	・法に関わる文章を読み比べる	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・二種類の実用的な文章を読み比べ、必要な情報を読み取って関連付けて解釈する方法を学ぶ。 				
	画	1月	表現編 レポートを書く	・資料を集めて情報を整理する	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じた資料を適切に探す方法を理解する。 			
		2月		・得られた情報を分析して報告するテーマを絞り込む	<ul style="list-style-type: none"> ・得られた客観的な情報から疑問点を挙げ、整理してテーマを絞り込む方法と、分析した内容をレポートにまとめる。 			
		3月		・構成を考えてレポートを書く	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートのアウトラインを作成する方法や実際にレポートを書く方法を理解する。 ・説明や表現の仕方、文章の効果的な組み立て方や接続や展開の仕方について理解を深める。 			
学習方法	<p>【予習】全文を通読し、語句の意味や漢字の読み書きを確認し、主張の概要を把握する。</p> <p>【授業】集中して取り組み、内容理解に努める。理解が難しい点は早めに質問する。</p> <p>【復習】その日の学習内容のノートを見直す。単元ごとの確認プリント等を活用し、理解を深める。</p>							
評価の観点・評価規準・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	実社会に必要な国語の知識や技能を確実に身に付けている。		「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。			
	評価方法		第1・2学期	第3学期	年度末			
	※上記の観点を基に学期ごとに評価する。 A：考査による評価 B：授業活動等による評価		A：7割 B：3割 Bは授業態度、小テスト、課題の取組状況、ルーブリック、長期休業中課題の取組等	A：7割 B：3割 Bは授業態度、小テスト、課題の取組状況、ルーブリック、長期休業中課題の取組等	1・2・3学期の平均			
備考								

総合国語

総合学科

教科	国語	単位数	2単位	対象	2年次	選択群	H・K①群
使用教科書	「高校生のための愛媛の文学」 (森と出版)			副教材等		履修	必履修・ 選択
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路	
愛媛出身の作者による韻文(俳句や短歌)、愛媛を舞台とした小説作品や古文の文章などを読解したり鑑賞したりします。ふるさとの文学を通して、日本文化の特質や日本人の心について考えます。各作品が書かれた時代のものの見方に触れ、理解を深めます。			<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な言語文化に対する理解を深める。 ・郷土にゆかりのある文学作品を通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で自分の人生観について考える。 			<ul style="list-style-type: none"> ・履修の条件は特にありません。 ・国語、特に古文も含めた文学作品に興味のある人が履修してください。 	
学習の年間計画	月	単元名	項目	学習内容			
	4月	古典文学 地名の起こり	「伊予」と「愛媛」	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の文章に慣れるとともに、文語のきまりについて理解を深める。 ・作品内のものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・筆者の捉え方を理解し、自己に照らして考察する。 ・内容や構成、論理の展開、要旨についての的確に把握する。 ・伝統文化の一つである短歌の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する歌人正岡子規の作品を味わう。 ・短歌の表現技巧とその効果について理解する。 			
	5月	近・現代の散文	「自分の木」の下で 病床六尺				
	6月	近・現代の韻文 短歌	正岡子規				
	7月	古典文学 伊予の湯をめぐって	熟田津の歌	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、作品に表れている情景や心情を読み取る。 			
	9月	近・現代の散文	がんばっていきまっしょい 世界の中心で、愛をさけぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・描写に表れた登場人物の心情をそれぞれの視点で読み解くことで、小説の展開を捉える。 			
	10月	古典文学 各地に残る不思議	藤原佐理 伊予国矢野保の黒島のねずみ	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 ・歴史書や説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに作品の解釈を踏まえ、人間、社会、自然に対する自己の考えを深める姿勢を養う。 ・思想的背景・歴史的背景に注意しながら読み、積極的に自分の考えを広げ、深める。 			
	11月	近・現代の散文	坊っちゃん 忘れえぬ人々				
	12月	古典文学 人生がかわるとき	山家清兵衛の忠誠 武左衛門一揆				
	1月	近・現代の韻文 俳句 詩	富澤赤黄男 坪内稔典	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土出身の俳句・詩の作者について調査し、発表する。 ・韻文の表現技巧とその効果について理解する。 			
	2月		高橋新吉				
	3月						
	学習方法	<p>【予習】 語句の意味や句法を調べておきましょう。</p> <p>【授業】 集中して授業に取り組み、理解に努めましょう。理解が難しい内容は早めに質問するようにしましょう。</p> <p>【復習】 その日の学習内容について、板書内容を中心に確認しましょう。</p>					
評価の観点・評価規準・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばして他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、文学に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。		
	評価方法		第1・2学期		第3学期		年度末
※上記の観点を基に学期ごとに評価する。		A：7割 B：3割		A：7割 B：3割		1・2・3学期の平均	
A：考査による評価 B：授業活動等による評価		Bは授業態度、小テスト、課題の取組状況、ルーブリック、長期休業中課題の取組等		Bは授業態度、小テスト、課題の取組状況、ルーブリック、長期休業中課題の取組等			
備考							

現代語

総合学科

教科	国語	単位数	2単位	対象	3年次	選択群	P②・S②群
使用教科書	やさしい日本語のしくみ 改訂版(くろしお出版)			副教材等	プライム常用国語 (第一学習社)		履修 必履修・ 選択
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路	
日本語について、言葉としての成り立ちや文法を基礎から学び、正しい使い方、日本人独特の言い回しなどを知ることで日本語の特性を理解し、場面や目的に応じた表現の仕方を身に付けます。			<ul style="list-style-type: none"> 日本語の特性を理解することで、日本語や日本人についての思いを深めることができる。 目的や場面などに応じて適切に表現できる。 			履修の条件は特にありません。	
学 習 の 年 間 計 画	月	単元名	項 目	学 習 内 容			
	4月	1 日本語の音と形	<ul style="list-style-type: none"> 発音のしくみ 特殊拍 五十音図 音素と異音 アクセント 漢字かな交じり文 	<ul style="list-style-type: none"> 音声学的に違いを考える 音節とモーラ音素 いろは歌と比較して 「シ」と「スイ」の区別 日本語の高低アクセント 同音異義語と分かち書き 和語、漢語、外来語の短縮の特徴 十品詞 規則的な活用 			
	5月						
	6月	2 日本語の文法	<ul style="list-style-type: none"> 短縮語 日本語の品詞 活用 	<ul style="list-style-type: none"> 名詞と述語の関係性 他動詞と自動詞 能動文と受身文 過去と完了 変化動詞と非変化動詞 「たら」と「なら」の共通点と相違点 名詞を詳しく述べる 言い換え 英語との比較から日本語の特色を知る 使い分け 出来事のとらえ方 丁寧語・尊敬語・謙譲語 他者の視点から日本語を見つめ直す 			
	7月						
	9月						
	10月	3 日本語らしい表現	<ul style="list-style-type: none"> 格助詞 使役 受身 テンス アスペクト 条件 名詞修飾 連体修飾と連用修飾 省略 「は」と「が」 授受表現 敬語 日本語学習者の日本語 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の乱れ 古典語との連続性について考える 			
	11月						
	12月						
	1月						
	2月	4 日本語の変化と多様性	<ul style="list-style-type: none"> ら抜き言葉 現代語に残る古典語 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の乱れ 古典語との連続性について考える 			
	3月						
	学習方法	<p>【予習】 教科書の該当ページを確認して、よく読んでおきましょう。</p> <p>【授業】 説明をよく聞き、理解に努めましょう。課題には意欲的に取り組みましょう。</p> <p>【復習】 その日の学習内容について、ノートや教科書を見直し、漢字や語句を覚えたり使ったりしてみましょう。</p>					
評価の観点・評価規準・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。		「話すこと聞くこと」「書くこと」の各領域において目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったり、目的、意図に応じた効果的な表現による文章を書いたりして、自分の考えを深め発展させている。		国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。		
	評価方法	第1・2学期		第3学期		年度末	
※上記の観点を基に学期ごとに評価する。	A：7割 B：3割		A：7割 B：3割		1・2・3学期の平均		
A：考査による評価 B：授業活動等による評価	Bは授業態度、小テスト、課題の取組状況、ルーブリック、長期休業中課題の取組等		Bは授業態度、小テスト、課題の取組状況、ルーブリック、長期休業中課題の取組等				
備考							

国語探究

総合学科

教科	国語	単位数	2単位	対象	3年次	選択群	T②群
使用教科書	ちくま評論入門 二訂版 (筑摩書房)			副教材等		履修	必履修・ 選択
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路	
現代の評論を読み、論理的な思考力を身に付けます。また、読解問題に取り組むことで読みを深めます。			<ul style="list-style-type: none"> さまざまな評論を読み、ものの見方、考え方を広げる。 全体の構成をつかみ、入試に対応できる力を養う。 			<ul style="list-style-type: none"> 大学進学希望者、医療系専門学校進学希望者が対象です 	
学年間の学習計画	月	単元名	項目	学習内容			
	4月	第一部	評論への招待	<ul style="list-style-type: none"> 段落相互の関係 対比 具体と抽象 レトリックー比喻の力 			
	5月	第二部第一章	〈私〉のなかの〈世界〉	<ul style="list-style-type: none"> 話しかけることば (高橋源一郎) 未来の他者と連帯する (大澤真幸) 			
	6月			<ul style="list-style-type: none"> 「つながり」と「ぬくもり」 (鷲田清一) 			
	7月	第二章	〈他者〉と向きあう	<ul style="list-style-type: none"> ふたつの誤り (福岡伸一) 			
	9月	第四章	都市という現象	<ul style="list-style-type: none"> 視線のカスケード (下條信輔) 東京タワー (中沢新一) 			
	10月			<ul style="list-style-type: none"> 現実に噛みつかれながら (プレイディみかこ) 			
	11月	第五章	〈世界〉の中の〈私〉	<ul style="list-style-type: none"> 交換と贈与 (近内悠太) 			
	12月	第六章	芸術の想像力	<ul style="list-style-type: none"> 感性は磨けるか (榎木野衣) 			
	1月	第七章 第八章	ことば、この人間的なもの 問いとしての現代	<ul style="list-style-type: none"> 国境を超えることば (多和田葉子) 生き延びるための思想 (上野千鶴子) 			
	2月						
	3月						
	学習方法	<p>【予習】 全文を通読し、語句の意味や漢字の書き方・読み方を確かめておきましょう。</p> <p>【授業】 集中して授業に取り組み、内容理解に努めましょう。理解できない内容は早めに質問しましょう。</p> <p>【復習】 その日の学習内容のノートを見直し、要旨をまとめ、漢字や語句の意味を覚えましょう。</p>					
評価の観点・評価規準・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。		「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもって言葉を効果的に使おうとしている。		
	評価方法		第1・2学期	第3学期	年度末		
※上記の観点を基に学期ごとに評価する。 A：考査による評価 B：授業活動等による評価		A：7割 B：3割 Bは授業態度、小テスト、課題の取組状況、ルーブリック、長期休業中課題の取組等	A：7割 B：3割 Bは授業態度、小テスト、課題の取組状況、ルーブリック、長期休業中課題の取組等	1・2・3学期の平均			
備考							

小論文基礎

総合学科

教科	国語	単位数	2単位	対象	3年次	選択群	U群	
使用教科書	小論文 ジャンル別キーワード解説 五訂版 (桐原書店)			副教材等	大学入試小論文をひとつひとつわかりやすく。		履修	必履修・ 選択
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路		
毎回何らかのテーマに沿って、どんどん小論文を書いていきます。時には各自で調べ学習をしたり、講座内で討論をしたりして、論理的な思考力・表現力を身に付けます。			<ul style="list-style-type: none"> 小論文の基本的な書き方を身に付ける。 多角的なものの方や論理的な思考力・表現力を養う。 入試に対応できる力を身に付ける。 			上級学校への入学試験で小論文が必要な生徒が対象です。		
学 習 の 年 間 計 画	月	単元名	項 目		学 習 内 容			
	4月	小論文の書き方Ⅰ	1	国際	<ul style="list-style-type: none"> グローバル化 米中対立 食糧問題 政治参加の新たな流れ 地方自治と地方分権 企業倫理 地球温暖化 持続可能な開発目標 (SDGs) 生物多様性 AI 宇宙開発 再生可能エネルギー 			
	5月		2	政治・経済				
	6月		3	環境				
	7月		4	科学・技術				
	9月	小論文の書き方Ⅱ	5	情報・通信	<ul style="list-style-type: none"> インターネット ソーシャルメディア 情報リテラシー 個人情報保護 学力低下 キャリア教育 生涯学習 再生医療 生活習慣病 終末期医療 超高齢化社会 介護をめぐる問題 			
	10月		6	教育				
	11月		7	医療・健康				
	12月		8	福祉				
	1月	小論文の書き方Ⅲ	9	社会	<ul style="list-style-type: none"> 少子化 格差社会 ボランティア活動 			
	2月							
	3月							
	学習方法	<p>【予習】 新聞やニュースやインターネットで、事前に情報を入手しておきましょう。</p> <p>【授業】 講座内で討論しながら、とにかく書きましょう。</p> <p>【復習】 添削されたところを直して、もう一度同じテーマで書きましょう</p>						
評価の観点・評価方法	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度	
	言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。			相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。			国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	
評価方法	評価方法		第1・2学期		第3学期		年度末	
	※上記の観点を基に、各学期とも評価する。 A：主に考査による観点別評価 B：主に授業等による観点別評価		A：5割 B：5割 Bは、授業態度、課題の取組状況、長期休業中の課題等		A：5割 B：5割 Bは、授業態度、課題の取組状況、長期休業中の課題等		1・2・3学期の平均	
備考								

国語研究

総合学科

教科	国語	単位数	4単位	対象	3年次	選択群	N群	
使用教科書	ちくま小説入門 改訂版 (筑摩書房)			副教材等	論読 現代文		履修 必履修・ 選択	
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路		
さまざまな作家の小説を中心に、論理的な文章を加えた多様な文章を読み、文章読解の基本を学びます。また、その知識や読解力を総合的に活用できる力へと高め、学習を深めます。			<ul style="list-style-type: none"> 小説を読むうえで押さえておくべき基礎的な知識を理解する。 論理的な文章理解を深める。 文章の内容を的確に読み取る。 それぞれの書き手の魅力を味わう。 			短期大学または専門学校への進学希望者、及び就職希望者が対象です。		
学年間の計画	月	単元名	項目	学習内容				
	4月	第一部	・小説への招待	<ul style="list-style-type: none"> 小説の仕組み 小説の表現 小説の豊かさ・可能性 小説の読解 ポッコちゃん (星新一) 				
	5月	第二部	・第一章 出会いの物語	<ul style="list-style-type: none"> ふたり (角田光代) 				
	6月		・第二章 ここではない別の場所へ	<ul style="list-style-type: none"> 銀の匙 (中勘助) 				
	7月	第三部	・第三章 見えるものと見えないもの	<ul style="list-style-type: none"> 満月 (吉本ばなな) 闇の絵巻 (梶井基次郎) 				
	9月		・第四章 語り之力	<ul style="list-style-type: none"> どよどよ (小池昌代) 				
	10月			<ul style="list-style-type: none"> セメント樽の中の手紙 (葉山嘉樹) 				
	11月			・第五章 私らしさを探して	<ul style="list-style-type: none"> 四月のある晴れた朝に 100パーセントの女の子に出会うことについて (村上春樹) 			
	12月							
	1月							
	2月							
	3月							
学習方法	<p>【予習】 それぞれの文章の語句の意味、漢字の書き方、読み方を確かめておきましょう。</p> <p>【授業】 集中して授業に取り組み、理解に努めましょう。理解できない内容は早めに質問しましょう。</p> <p>【復習】 その日の学習内容について、ノートに書いたことを中心に考えたり、漢字や語句を覚えたりしましょう。</p>							
評価の観点・評価規準・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。		「書くこと」「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。			
	評価方法		第1・2学期		第3学期		年度末	
※上記の観点を基に学期ごとに評価する。 A： 考查による評価 B： 授業活動等による評価		A： 7割 B： 3割 Bは授業態度、小テスト、課題の取組状況、ルーブリック、長期休業中課題の取組等		A： 7割 B： 3割 Bは授業態度、小テスト、課題の取組状況、ルーブリック、長期休業中課題の取組等		1・2・3学期の平均		
備考								